

第5次中期計画

令和5年度(2023年度) ～ 令和7年度(2025年度)

令和 5 年 1 月

公益社団法人 四日市市シルバー人材センター

II 第5次中期計画(今後の取り組み)

ますます進行する少子高齢化の波、私たちシルバー人材センターは社会から何を求められ、また、どのような地域貢献ができるのでしょうか。刻々と変化する社会情勢の中で、センターの果たす役割は決して小さくないはずです。

このような中、当センターが将来にわたり発展し、会員がいきいきと就業できるようにという思いを込めて「第5次中期計画」を策定しました。

この計画は簡単に達成できるものではありません。何よりも皆さんの協力が必要です。会員・役職員全員がともに力を合わせ事業を展開し、明るい未来を目指して進みましょう。

i 基本理念

自主・自立、共働・共助

ii 計画期間

令和5年度(2023年度)～令和7年度(2025年度)

iii 活動目標

明るく元気で信頼あふれるシルバー人材センターをめざして

iv 数値目標

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
会員数(人)	1,400	1,450	1,500
契約金額(千円)	856,000	871,000	886,000
就業率(%)	90.0	90.0	90.0

v 事業計画

- ① 事業計画は、会員・役職員が同一の目標に向かって行動することで、組織の活性化、事業の発展及び地域社会への貢献を図ることを目的として策定する。
- ② 事業計画は、当センターを取り巻く社会情勢の中で、当センターが重点的に取り組む事業を定めたものである。
- ③ 第4次中期計画に基づき実行してきた事業について、第5次中期計画期間中においても継続的に実行すべき事業は引き続き計画する。
- ④ 第5次中期計画期間中、毎年度事業計画と事業実績との検証及び評価を行い、次年度の事業計画を策定し予算編成する。

1 会員の拡大

(1) 入会の促進

〔これまでの主な取り組み〕

- ① 月2回の定例会説明会と不定期に説明会を開催している。
- ② 入会説明会参加者の中で未入会者に対して、入会勧誘の文書を郵送している。
- ③ 会員互助会活動、ボランティア活動、パソコン教室や女性部活動等を通じて、センターのPRを行っている。
- ④ 地区市民センター、ハローワーク、新聞、広報よっかいち、老人クラブ機関紙等に入会案内の広告を掲載している。
- ⑤ 春のエキサイトバザール、大四日市まつり、交通安全運動(ハンドサインキャンペーン等)を通じて当センターのPRをしている。
- ⑥ 市広報に、当センターの各種活動、講習会開催等の記事掲載を依頼している。
- ⑦ 市役所の封筒に、当センターの入会PR広告を掲載している。
- ⑧ ホームページを改良し、PR促進を図っている。

〔主な課題〕

- ① 入会希望者の高齢化が進み、高齢化に対応した就業機会の充実が求められる。
- ② 各種PRが入会促進に結びついているか、検証が必要である。

〔これからの主な取り組み〕

(項 目)		(事 業)	
A	入会説明会の充実	a	月例会説明会に加えて、地域入会説明会を毎月実施
B	各種活動を通じた口コミでの入会勧誘の拡大	b	会員互助会活動、地区活動の充実とその活動を通じたPR活動の推進
		c	講習会・研修会を利用したPR活動の推進
C	市のイベント、広報などを利用したPRの充実	d	公共の広報・マスメディア等を利用したPR活動の推進
		e	ショッピングセンター等でのPR活動の充実
D	女性の入会促進	f	女性会員が働きやすい職種及び環境の整備
		g	講習会や就業後のフォローの充実
		h	女性部の活動の充実
E	三シ連やハローワークとの連携充実	i	ハローワークの各種説明会、イベントでのPR活動

(2) 退会の抑制

〔これまでの取り組み〕

- ① 未就業の会員に対し、フォローの連絡を続けている。
- ② 事務局内で情報交換を活発に行い、就業情報を共有化し、未就業の会員へ情報提供を行っている。
- ③ 職群に応じた講習会や就業後のフォローを行い、就業意欲の促進を図っている。
- ④ 会員互助会、地区活動等との連携強化及び虹の橋、センターだよりの発行にて、当センターとの結びつきの強化を図っている。
- ⑤ 会費未納入の会員に対し、就業マッチングに努めるとともに、会員継続・会費納入の案内を郵送している。

〔主な課題〕

- ① 会員の高齢化に対応した就業機会の維持・創出が求められる。
- ② 会員互助会活動や地区活動を更に充実し、会員とセンターの結びつきを強化する。

〔これからの主な取り組み〕

(項 目)		(事 業)	
A	就業意欲の促進	a	講習会や就業後のフォローの充実
B	当センターとの結びつきの強化	b	会員互助会、地区活動との連携強化と充実

(3) 会員高齢化への対応

〔これまでの取り組み〕

- ① ワークシェアリングで働きやすい就業環境を整備している。
- ② 「きゃっつ」の創設により、高齢会員にも働きやすい環境整備を行っている。

〔主な課題〕

- ① 高齢会員に適応した就業環境の更なる整備が必要である。
- ② 若い世代の入会促進施策が必要である。

〔これからの主な取り組み〕

(項 目)		(事 業)	
A	高齢者が働き続けられる環境づくり	a	共働・共助の考え方をより反映して、ワークシェアリングなど働きやすい就業条件を整備
		b	講習会や就業後のフォローの充実

2 就業の拡大

(1) 会員の技術・能力向上

〔これまでの主な取り組み〕

- ① 新規入会者研修を定期的で開催し、会員としての心構え、接遇・安全講習を実施している。
- ② 三シ連主催の「高齢者活躍人材育成技能講習会」を、会員の新たな分野での就業に活用している。
- ③ 除草・剪定班の再編成及び活動方式の確立により組織体制の強化を図っている。

〔主な課題〕

- ① 職群に応じた講習がコロナの影響で十分に実施できなかった面があった。
- ② 新しい会員に技術能力を伝授していくシステムの構築が必要である。

〔これからの主な取り組み〕

	(項 目)		(事 業)
A	「PDCA」マネジメントサイクル(P=計画、D=実施、C=評価、A=次の計画に反映)の中で研修等を検討・実施	a	職群班の組織体制の強化(共働・共助)による技術・能力の向上
		b	職群班毎の自主的な講習・研修の実施
		c	技術指導・安全就業促進を兼ねた講習・研修の実施

(2) 就業機会の確保

〔これまでの主な取り組み〕

- ① 商工会議所会報誌への折込広告を実施している。
- ② ハローワークや商工会議所との連携を深め、情報収集を行っている。
- ③ 新規入会者研修や会員状況調査票等で会員の就業意向を把握し、就業マッチングに活用している。
- ④ 新規入会者に対してガイドラインを説明し、適正就業に向けて取り組んでいる。
- ⑤ 役職員による訪問により、契約先との良好な関係を築いている。

〔主な課題〕

- ① 新規契約先の開拓を組織的、継続的に実施する必要がある。
- ② 会員の高齢化に伴い、契約先にも就業条件の変更を要請していく必要がある。

〔これからの主な取り組み〕

	(項 目)		(事 業)
A	シルバー人材センターのPR	a	PR体制の充実
B	会員や地域社会のニーズに合った事業展開	b	会員の就業ニーズの把握
		c	地域社会のニーズの把握
C	契約先の開拓	d	会員や各種組織・機関、就業機会創出委員会を通じた就業先の開拓
		e	会員の経験・技能を活かした就業先の開拓
		f	国、県、市が取り組む施策に対応した事業の組み立てとPR
		g	商工会議所等の外部組織・機関との連携強化
		h	過去の実績を活かした新規事業の組み立てとPR
D	適確な契約手続きと迅速で適確なマッチング	i	適正就業ガイドラインを利用した適正就業に向けた取組
		j	会員への受注事業の情報提供とマッチング
E	契約先との関係の維持	k	適切なタイミングで契約先訪問と就業内容の確認
		l	クレームへの適切な対応とフィードバック
		m	接遇能力の向上

(3) 安全就業の確保

〔これまでの主な取り組み〕

- ① 安全委員会を中心に、事故発生の状況把握、対策の徹底を図っている。
- ② 安全パトロールを実施して、現場とのコミュニケーションを密にしている。
- ③ ヒヤリ・ハット事例の提出を奨励している。
- ④ 拡大安全委員会や安全適正就業推進大会の開催、三重県安全就業推進大会への参加等により、安全組織体制の構築を図っている。
- ⑤ 安全リーダーである各職群の班長を中心に、各職域で安全意識を高めている。
- ⑥ 「安全就業だより」の発行により、全会員に安全就業の周知を図っている。
- ⑦ 会員の健康管理・維持のために健康診査の受診を勧奨している。

〔主な課題〕

- ① 対策を施しても事故は発生する。会員一人ひとりが就業ルールを守り、事故防止に向けて細心の注意を払う必要がある。
- ② 事故事例を会員全体に周知し、各自が自身のこととして自覚を持つ必要がある。
- ③ 各職域で先輩から後輩に技術の伝達を図る必要がある。

〔これからの主な取り組み〕

	(項 目)		(事 業)
A	安全就業を高める新しい機械・設備の導入	a	使用環境に対応した機械の積極的導入
B	安全教育の強化	b	教育システムの再構築
		c	教育マニュアルの制定
C	安全意識の高揚	d	就業前「安全就業ミーティング(危険予知)」の徹底
		e	職域別「安全集会」の実施
D	類似事故の再発防止対策の推進	f	事故速報による事故情報把握の徹底
		g	事故防止対策の強化推進
		h	「ヒヤリ・ハット体験事例」報告活動の活性化
E	新型コロナへの対応	i	情報の共有化と迅速な報告・対応

3 運営基盤の強化

(1) 理事会等の充実

〔これまでの主な取り組み〕

- ① 最終意思決定機関である理事会を毎月開催し、議案審議、報告等を行っており、当センターの重要事項について、方針を示している。
- ② 理事は、各部会・委員会を開催し、各所管事項について議論し、結果を理事会に提出している。
- ③ 監事は、業務及び会計の状況について、月例検査及び決算監査を行うとともに、理事会に出席して意見を述べている。
- ④ 理事及び監事は、地区会議、ブロック会議や地区活動に参加し、地域活動をリードし、活動の活性化を推進している。
- ⑤ 会員互助会は、別に会則を定め、全会員を構成員として、総会をはじめ親睦行事、同好会活動、社会奉仕活動、慶弔関係等、多岐に亘って活動している。

〔主な課題〕

- ① 理事会は当センターの維持・発展のために、更なるリーダーシップの発揮が求められる。
- ② 理事会、各部会・委員会、地区会議・ブロック会議等と、密接な連携が求められる。

〔これからの主な取り組み〕

（ 項 目 ）		（ 事 業 ）	
A	理事会、地区、女性部などの活動が相乗効果を生む取り組み	a	情報交換の場の設定
		b	他の組織・機関との連携強化
B	社会の変化に対応した取り組み	c	他の組織・機関の取り組みの研究・検討
C	持続可能なセンターへ、SDGsの取り組み	d	具体的な取組内容の確立と周知
D	コンプライアンスの徹底	e	理事会、事務局、会員の意識徹底
		f	会員・市民からの苦情・クレームの対応

(2) 事務局の充実

〔これまでの主な取り組み〕

- ① 事務局は会員本位の体制で、就業関係業務を行っている。
- ② 事務局は正確な財務運営を行っている。

〔主な課題〕

- ① 業務・体制の多様化に伴い、事務局内で情報交換を密にし、更なる意思統一が求められる。
- ② 会員からの要望等を事務局全体で把握・協議し、対応できるようにすることが必要である。
- ③ 他組織との交流を深め情報交換を行い、当センターの運営の参考とすることも必要である。

〔これからの主な取り組み〕

（ 項 目 ）		（ 事 業 ）	
A	社会の変化、センター運営の変化に対応した事務局	a	会員の活動に対応した体制整備
B	危機管理に適應した重要文書の管理	b	事務効率等を考慮した重要文書の保管の検討
C	職員の資質の向上	c	県内外シルバー人材センターとの交流
		d	業務上必要な資格取得及び研修実施

(3) 将来を見通した財政運営

〔これまでの主な取り組み〕

- ① 月次の「事業実績報告書」により、会員状況、契約状況等の把握を行っている。
- ② 月次の「会計報告書」により、収益及び資金状況、予算執行状況等の把握を行っている。
- ③ 定時総会の「年次事業報告」にて、運営状況の報告及び将来に向けての課題や事業計画を報告している。
- ④ 月例検査、決算監査の結果を事務局内で共有して改善している。
- ⑤ インボイス制度開始に備えて、「インボイス対策財政安定化運営積立」を実施している。

〔主な課題〕

- ① 将来の経費増加に備え、積立金の積み増しが必要である。
- ② 日々の資金繰りや積立資金を確保しつつ、公益法人として収支相償に留意する必要がある。

〔これからの主な取り組み〕

	(項 目)		(事 業)
A	日常のチェックと理事会への報告	a	月次決算、事業実績報告による財政状況の把握と理事長等の職務執行状況の理事会への報告
		b	月例検査、決算監査により財務状況の把握と報告